

ふれあいの橋の会

REPORT なんぶ

と き 2025年10月23日(木) 14:00~15:30

見学先 エンジョイりんRIN

尚徳地域包括支援センター

米子市永江 562 (コミュニティセンターりんRIN内)

みんなの居場所あいRIN

米子市永江 201-15

出席者 【委 員】 鶴亀 寿子、岸本 保子、高柴 サツコ

【なんぶ 幸朋苑】 中村 泰丈 (なんぶエリア総合施設長)

伊藤 道美 (尚徳地域包括支援センター所長 兼 地域総合支援室長)

大濱 伸也 (尚徳地域包括支援センター管理者)

瀬尾 朱美 (エンジョイりんRIN 管理者)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)



コミュニティセンターりんRIN (2023年オープン)

■施設の現況

荒井監事：本日は、米子市永江地区での取り組みを見学していただきます。鳥取県内最大規模の住宅団地の現況と課題を、地域とこうほうえんが一体となって考え、活性化事業を展開しています。本日は、施設間を移動しますので、見学が中心になるかと思います。



中村総合：久しぶりの秋晴れの中、参加いただき有難うございます。本日は「コミュニティセンターりんRIN」と「みんなの居場所あいRIN」を見学していただきます。はじめに、永江地区での取り組みについて、伊藤所長に説明をお願いします。

伊藤所長：永江地区の全体像を説明します。一戸建て住宅と県営・市営の公営住宅が混在し、県内最大規模の住宅団地です。団地形成から半世紀が経過しており、高齢化・空洞化が進み、様々な課題が浮き彫りになっていました。2013年には住民主体の「支え愛の店」をオープンさせ、オレンジカフェ、見守り支援事業などを展開してきましたが、手狭となってきましたので、2023年4月に「コミュニティセンターりんRIN」を開設しました。コミュニティセンターの1階には「尚徳地域包括支援センター」とフレイル予防のデサービス「エンジョイりんRIN」を配置。2階には交流室を整備し、ウォーキングマシンや健康マージャン、子どもコーナーを設けています。また、6人乗りの電気自動車を配置し、利用者の送迎などに利用しています。



瀬尾管理者：1階の「エンジョイりんRIN」は、65歳以上の要支援の認定を受けた人やフレイル度チェックで該当した人を対象に、月曜日から金曜日の午前・午後10名ずつの2部制で実施しています。脳トレ体操やマシントレーニング、歯科衛生士による口腔、栄養指導など、フレイル予防の実践教室も実施しています。コミュニケーションの輪を広げ、健康で元気に暮らしていただきたいと考えています。利用者の健康状態については、担当ケアマネジャーに報告し、連携した取り組みを進めています。

大濱管理者：「尚徳地域包括支援センター」は、地域で暮らし続けられるよう住民の皆さんをサポートする機関です。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種が連携し、総合的に高齢者を支え、相談などに対応しています。顔の見える関係になるよう心掛け、気軽に相談していただくよう願っています。困っている人がいないか、地域の薬局やコンビニなどとも連携し、情報を入手するようにしています。現在、7名の職員で運営しています。



高柴委員：新聞を読んでいますと、ケアマネジャーの有資格者が減少しており、現場で支障が出るのではと心配されているとのことですが、現況はどうですか。

中村総合：資格取得が難しくなったことや、5年経過すると更新手続きが必要です。こうしたことも原因の一つとなっているようです。

鶴亀委員：資格を取得するにも、更新手続きをするにも費用が必要で大変ですね。

岸本委員：資格がないとできない業種がありますが、人手不足の時代にあって、負担感を軽減する施策が必要だと感じます。

鶴亀委員：センターには時々訪問していますが、1階のりんRINは、いつも笑い声が聞こえ楽しそうな雰囲気が伝わってきます。気軽に参加できる環境は、とてもいいことだと思います。

瀬尾管理者：全員で唱歌を歌ったり、集団体操と機械体操に分かれた取り組みもしています。いろいろなメニューを用意していますので、ご利用者からは毎回楽しいという声を聴きます。

③





みんなの居場所あいRIN（2024年オープン）

■施設見学

伊藤所長：「みんなの居場所あいRIN」は、2024年10月に開設しました。10月25日（土）には1周年を記念し、お祝いの行事を開催します。委員の皆さんには、ぜひ参加されますようお願いいたします。永江地区では、子どもや子育て世帯を支える仕組みやインフラが不足しています。世代を超えた交流が必要だと考え、開設に至っています。事業内容は、次のとおりです。

- ①子どもの居場所あいRIN・月～金 14:30～17:00 幼児から小学生。気軽に立ち寄り、勉強や遊んだりする。
- ②あいRIN広場・月～金 10:00～15:00 幼児から修学前児。絵本読み聞かせ、玩具遊びなど楽しく親子交流。
- ③だがし屋あいちゃん 14:00～17:00 ④みんなの食堂（あいRIN食堂） 月～金 11:00～13:00。
- ⑤学習支援 土・日 10:00～15:00 小中学生 多様な状況にある子どもたちの学習の場を提供。
- ⑥相談 子どもや保護者、地域の方の相談を受ける。 ⑦地域の拠点 地域の人々が集い、交流のできる拠点。

鶴亀委員：学習支援は、どのように運営していますか。

伊藤所長：島根大学の学生にも、ボランティアで協力をいただいています。高校受験を控えた中学生なども利用しています。

中村総合：不登校の子どもも利用し、学校に行くようになりました。

岸本委員：絵本の読み聞かせもされていますね。

伊藤所長：現在、20人のボランティア登録があり、それぞれの特技などを生かしていただいています。生きがいに繋がっていると思います。食堂で使用する食材は、（株）米子青果様や地域から野菜の無償提供があり、助かっています。持続可能な運営をしていくために、いろいろ検討しています。

高柴委員：地域の老若男女が気軽に立ち寄り、交流の場所があるのは、とても意義深いと思います。

伊藤所長：地域の皆様のご協力をいただきながら、発展させていきたいと思っています。

④

■まとめ

地域の課題をみんなで考え、必要な施策を企画し、
一歩一歩着実に実行してきた成果が表れています。

次回は、11月27日（木）14:00～
デイハウスごせんごく・ピスターレごせんごく。



支え愛の店ながえ（2013年オープン）